



青森県の魅力を次世代へつなぐために

青森県広告景観 ガイドライン

青森県の魅力を次世代へと繋ぐために屋外広告物ができること



青森県には、地域シンボルとなる山並み、青く広がる海、広大な田園などの豊かで美しい自然景観を中心に、賑わいあふれる観光地や市街地など様々な景観が広がっています。これらの景観は、長い時をかけて培ってきた歴史風土の上にできあがっており、現在も、祭りや行事・産業・物産など、伝統を引き継ぎながら地域のまちづくりが育まれています。

屋外広告物は、これらの景観やまちづくりに広く関わっています。青森県の魅力を次世代へと繋ぐために、皆さんで屋外広告物による景観づくりに取り組んでいきましょう。



景観保全

県土の自然、歴史、文化を生かした魅力ある景観をつくる



情報伝達

県民や来街者へ、適切な情報提供を行う広告景観をつくる



地域活性化

県内市町村の景観形成機運を醸成し、まちづくりの推進を行う

1章 青森らしい広告景観をつくるために

1-1.景観と屋外広告物の関わり	5
-広告景観とは	
-景観の中の屋外広告物	
-屋外広告物に関わる人と相互の利益	
-屋外広告物と景観の視点	
1-2.青森県の屋外広告物に対する考え方	7
-広告景観に関する3つの視点	
1-3.青森県広告景観ガイドラインの役割と位置づけ	8
-広告景観ガイドラインと屋外広告物規制のあらし	
-広告景観ガイドラインの対象範囲	

2章 青森らしい広告景観のつくりかた

2-1.広告景観の取り組み方針	9
-共通ガイドラインと地域モデル別ガイドライン	
-青森県の5つの広告景観の特性	
2-2.共通ガイドライン	11
-わかりやすく効果的で好感の持てる広告づくり	
-安心・安全な交差点の広告づくり	
-耐久性を備え、維持管理のしやすい広告づくり	
-簡易広告物の乱立を控える	
2-3.地域モデル別ガイドライン	
-A.田園・果樹園の広告景観	15
-B.眺望のある広告景観	18
-C.ロードサイドの広告景観	21
-D.市街地の広告景観	24
-E.観光地・観光ルートの広告景観	26

3章 地域の特性を発信するために

3-1.青森県内の事例	29
3-2.青森県外の事例	31

参考資料：広告景観を考えるためのデザインの基礎知識	33
---------------------------	----

1章 青森らしい広告景観をつくるために

1-1.景観と屋外広告物の関わり

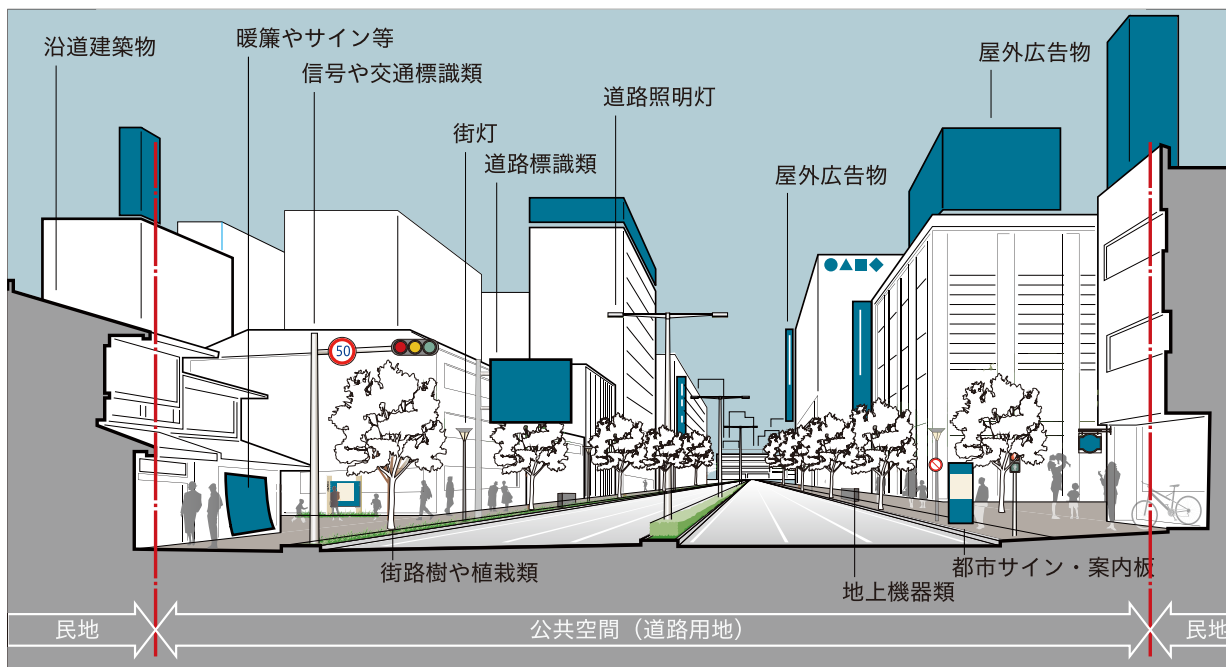
■ 広告景観とは

自然景観や街並みと調和した屋外広告物によってつくられた、青森らしい魅力的で良好な景観を広告景観と言います。

■ 景観の中の屋外広告物

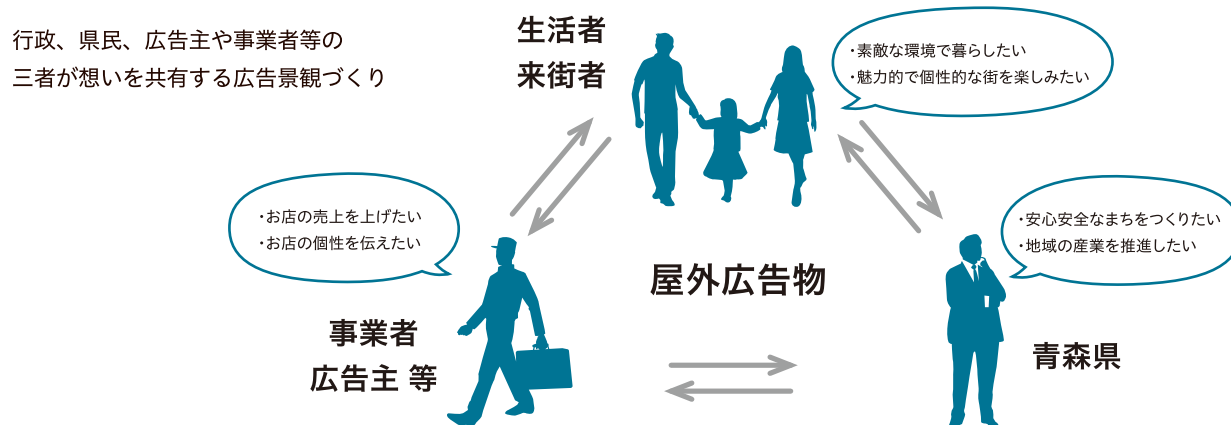
屋外広告物は、景観の一構成要素です。屋外広告物は、景観を阻害する要因にもなりますが、地域に合った質の高い屋外広告物は、景観をより魅力のあるものしてくれます。

景観は、道路、建築物、信号や街路灯など様々な要素によってつくられています。屋外広告物も景観全体の中のひとつの要素として捉えることが大切です。



■ 屋外広告物に関わる人と相互の利益

屋外広告物には、生活者・来街者、事業者・広告主、行政など様々な人々が関わっています。それぞれの立場から屋外広告物を考え、効果的でより良い広告景観づくりに取り組むことが大切です。

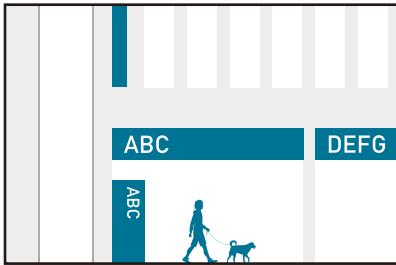


■ 屋外広告物と景観の視点

屋外広告物と景観の見方については単体としての広告物のみならず『隣り合う広告物との関係（近景）』、『建物との関係（中景）』、『背景との関係（遠景）』を意識することが大切です。

-近景・中景・遠景で視野に入る広告物-

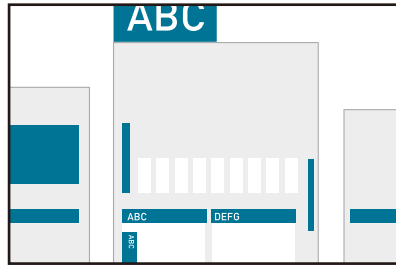
近景 …『街の賑わいをつくる』



● 『広告と広告』を考慮する視点

- ・屋外広告物単体のデザイン
- ・他の屋外広告物との関係性

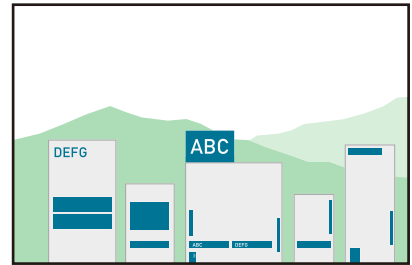
中景 …『街並みをつくる』



● 『広告と建物』を考慮する視点

- ・通りや街並みの連続性
- ・個々の建築デザインとの関係性

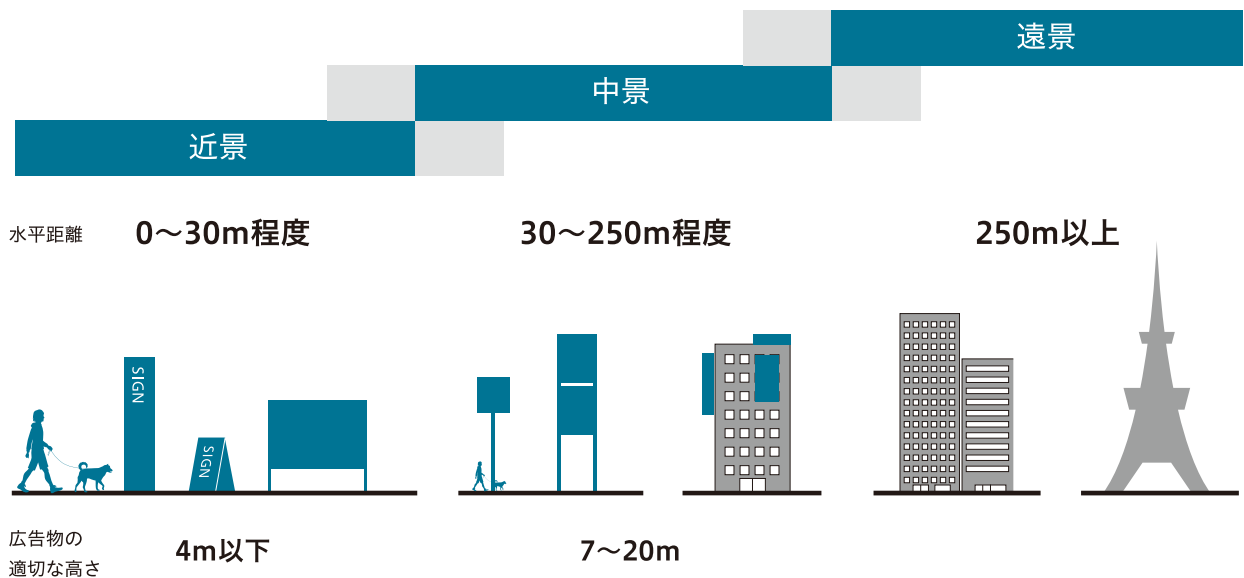
遠景 …『景観をつくる』



● 『広告と背景』を考慮する視点

- ・連なるスカイラインの連続性
- ・背景にある景観との関係性

-広告物の適切な高さ-



※効果的な屋外広告物は地域の状況に合わせ、大きさ、高さ、色彩などについて景観を考えて設置することが大切です。

1-2.青森県の屋外広告物に対する考え方

■ 屋外広告物に関する3つの視点

青森県は以下の3つの視点を大切にしながら、魅力的で良好な広告景観づくりに取り組みます。

規制（屋外広告物条例による規制）

- 景観を阻害する屋外広告物の掲出を抑制し、県土の自然・文化を守ります。
- 屋外広告物設置の許可地域を設定し、地域にふさわしい広告景観を整えます。
- 屋外広告物の定期的な点検を義務付け、県民の安全を守ります。



誘導（屋外広告景観ガイドラインによる誘導）

- 必要な情報を見やすく、分かりやすく伝え、効果的な情報提供を行きましょう。
- 地域ごとの景観の特性に合った屋外広告物を掲出し、美しい自然景観を守り、賑わいと活力が感じられる広告景観をつくりましょう。



活用（市町村・まちづくりとの連携）

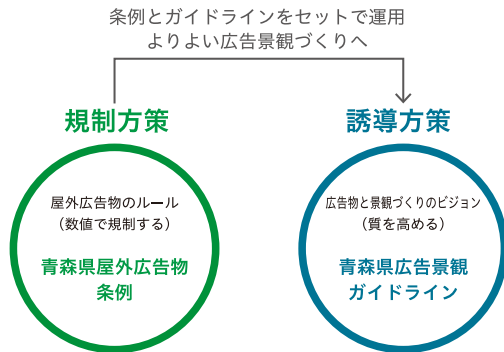
- 屋外広告物を活用し、個性的で活気のあるまちをつくりましょう。
- 地域の方々とともに考え、地域にふさわしい広告景観をつくりましょう。



1-3.青森県広告景観ガイドラインの役割と位置づけ

■ 広告景観ガイドラインと屋外広告物規制のあらまし

青森県広告景観ガイドラインは、青森県景観計画および青森県屋外広告物条例に基づき、県土の良好な景観形成を推進するために策定しました。条例の順守はもちろんのこと、ガイドラインにより地域毎の環境改善や、地域活性化に向けた具体方策を示しています。



○屋外広告物に関する発行物

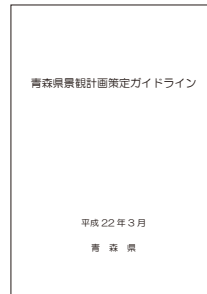


『屋外広告物規制のあらまし』
平成29年3月



『屋外広告景観ガイドライン』
平成29年3月

○その他景観に関する発行物



『青森県景観計画策定ガイドライン』
平成23年3月



『青森県景観色彩ガイドプラン』
平成22年3月

■ 広告景観ガイドラインの対象範囲

青森県広告景観ガイドラインは、青森市・弘前市・八戸市を含んだ青森県土全域を対象範囲とします。



2章 青森らしい広告景観のつくりかた

2-1. 広告景観の取り組み方針

■ 共通ガイドラインと地域別ガイドライン

青森県広告景観ガイドラインは、共通ガイドラインと地域別ガイドラインがあります。**共通ガイドライン**には県全域で共通して目指していく必要がある事項、**地域別ガイドライン**には地域ごとの景観の特性を生かした広告景観をつくるための守るべき事項を示しています。青森県特有の気候風土を考慮した共通ガイドラインと地域別ガイドラインにより、質の高い広告景観づくりを目指しましょう。

■ 青森県の5つの広告景観の特性

青森県は、広大な県土の中に、地域のシンボルとなる山稜、海浜を臨む眺望、市街地や幹線道路の賑わいなど様々な特性の景観があります。これらの景観の特性により5つの地域モデルに分けることができます。

青森を代表する美しい自然景観

A 田園・果樹園の広告景観

B 眺望のある広告景観

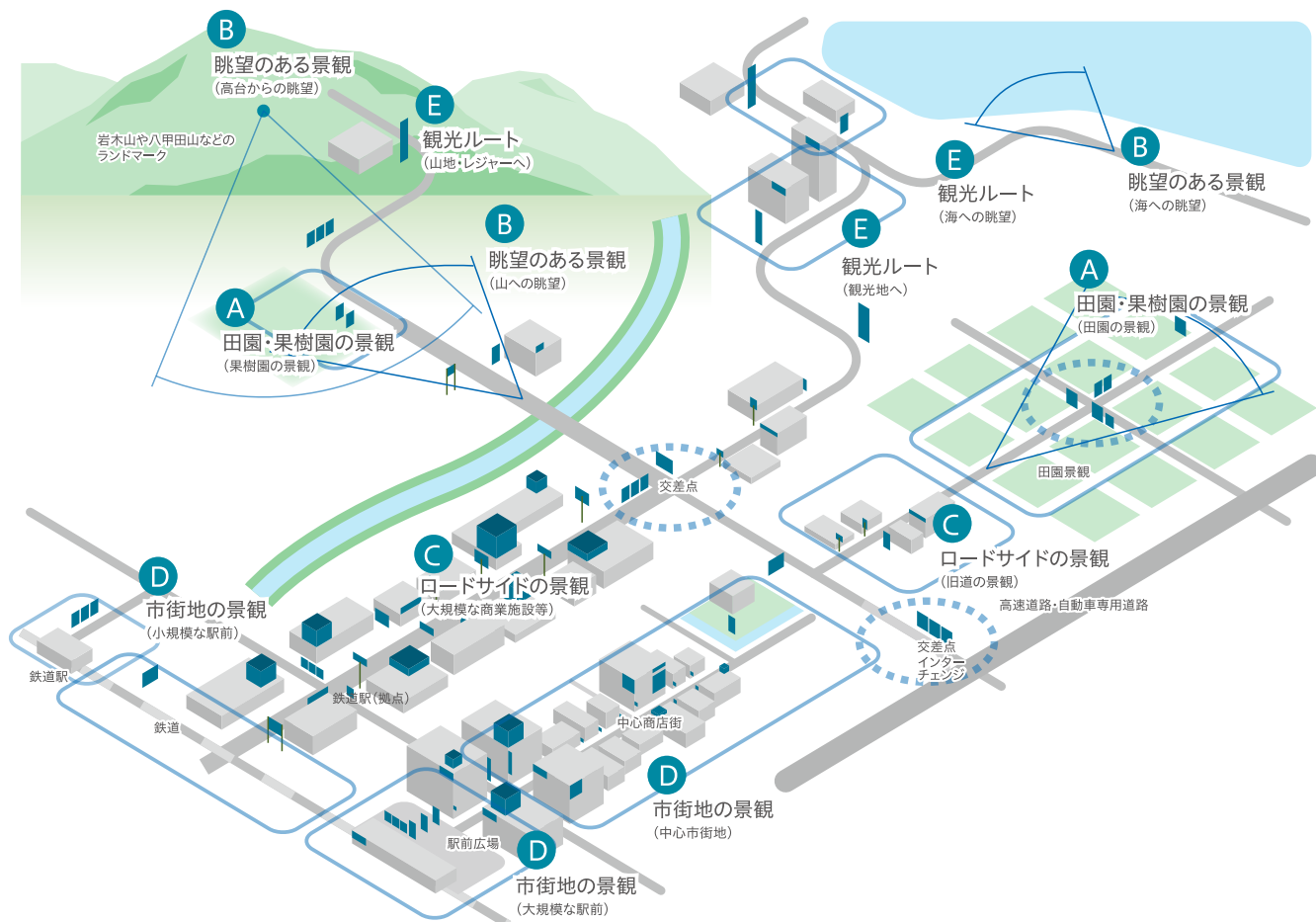
賑わいと活力が感じられる街並み

C ロードサイドの広告景観

D 市街地の広告景観

旅の高揚感を高める町の玄関口や道路

E 観光地・観光ルートの広告景観



青森を代表する美しい自然景観

A: 田園・果樹園の広告景観

田園、果樹園、畑、牧場などの市街地近郊から山稜部周辺に存在する二次的自然景観のある広告景観です。県土にひろがる代表的な景観です。



B: 眺望のある広告景観

岩木山や八甲田山等、県土を代表するランドマークへの眺望や、海浜沿いの道路から見える海浜への眺望がある広告景観です。



賑わいと活力が感じられるまちなみ景観

C: ロードサイドの広告景観

自動車での利用を主とする商業施設が立地している幹線道路の広告景観です。都市間に立地するため眺望景観や観光ルートとも密接に関連します。



D: 市街地の広告景観

中心市街地であり、駅前や商店街、また歴史的な街並みの広告景観です。地域や商店街でのまちづくりと連携した取組などもみられます。



旅の高揚感を高める町の玄関口や道路

E: 観光地・観光ルートの広告景観

駅や高速道路の出入り口等から観光地に至るまでの広告景観です。自然景観が楽しめる通りが多く見られます。



2-2.共通ガイドライン

■わかりやすく効果的で好感の持てる広告づくり

情報量を抑える

必要な情報を絞り込み簡潔に表現する。

色数を抑える

色も情報である。少ない色数で伝える工夫をする。

文字サイズ・書体を適正にする

広告物の視認距離に適した文字サイズや書体を検討する。

レイアウトを整える

情報の優先順位を整理し、まとめりや対比・強調、余白の活かし方などバランスを整える。

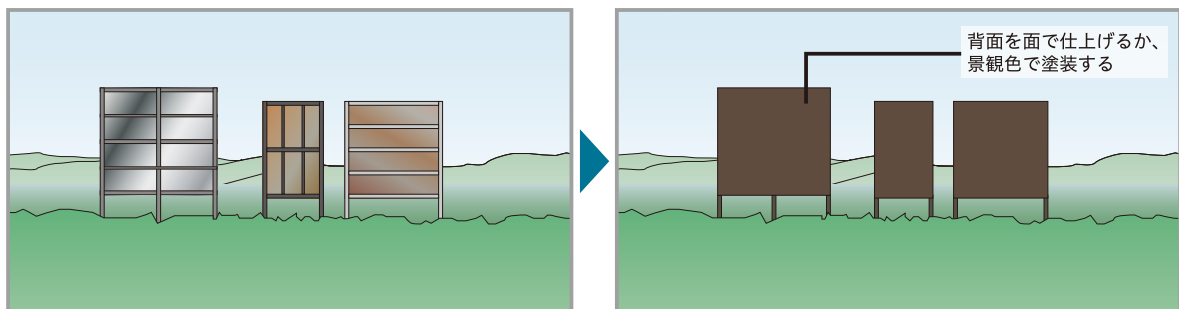
表示面以外にも気を配る

支柱や背面についても、塗装等の仕上げに配慮する。



「情報量を抑える」「レイアウトを整える」

「色数を抑える」「情報を抑える」



「表示面以外にも気を配る」

裏面を仕上げた事例



神奈川県横浜市



福岡県福岡市

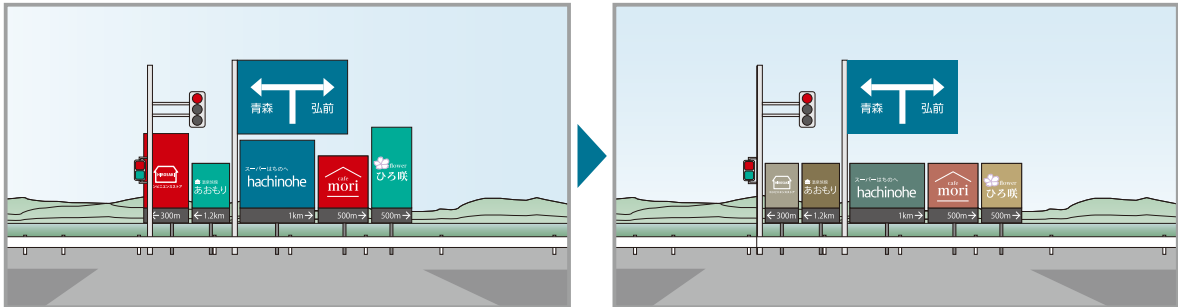
■安心・安全な交差点の広告づくり

交通信号機や道路案内標識より
高さを抑える

交差点付近では、信号や標識への視線を妨げない高さ
や位置とする。

派手な色は使わない

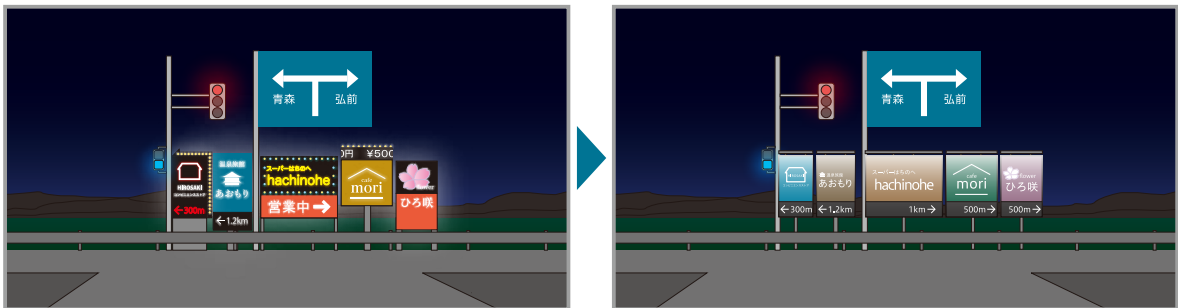
交差点付近や道路標識が設置されている付近では、表
示面に標識の近似色や彩度の高い色は使用しない。
(※彩度8以下とする)



「交通信号機や道路案内標識より高さを抑える」「派手な色は使わない」

電光式広告物は用いない

交差点付近では、信号機の視認性を阻害する恐れのある
映像表示装置（デジタルサイネージ等）、点滅広告物な
どの電光式広告物は用いない。



照明を伴う看板についての注意事項-1

光源が点滅する広告物（外照式・内照式含む）は、
信号機の視認性を低下する恐れがあるため交差点付
近での使用は控える。

照明を伴う看板についての注意事項-2

広告物の照明は、光源の露出を避け防眩カバー等
を設置する。外照式照明においては、必要最小限の照
射範囲とし、遮光用カバー等により周囲への漏れ光
を抑えるよう配慮する。また、信号機の信号灯火色
と類似する照明色は使用しない。

参考：JIS安全色について

JIS Z9101-1995の安全触及び安全標識の
基準により、案内標識のマンセル値が定め
られている。広告物の色彩は、交差点での
行動の判断を妨げないよう、全ての安全色
の彩度を超えない彩度8以下を推奨する。

色彩



赤
7.5R4/15
防火
禁止、停止



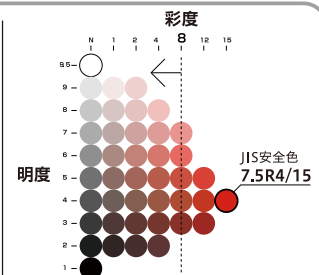
黄
2.5Y 8/14
義務的行動



青
2.5PB 3.5/10
義務的行動
指示



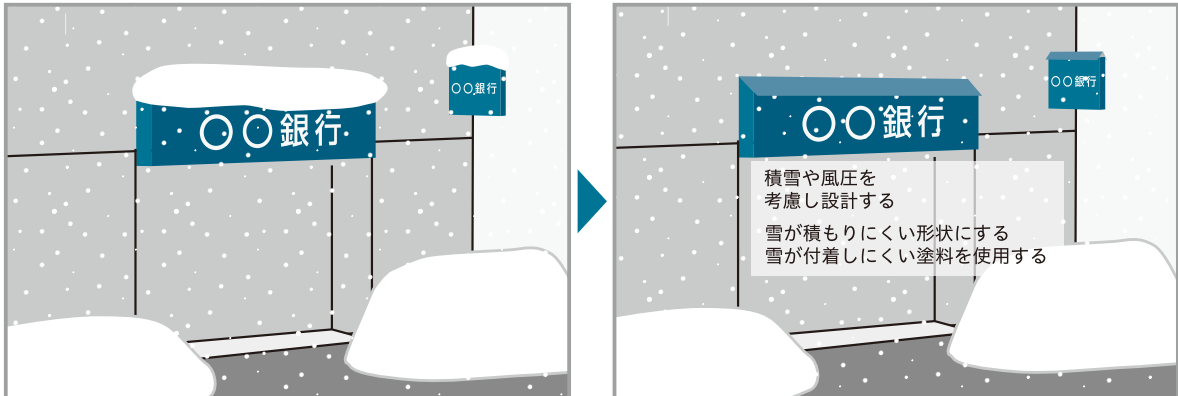
緑
10G 4/10
義務的行動
指示



■ 耐久性を備え、維持管理のしやすい広告づくり

積雪や暴風に備えた仕様とする

表示面の上端に雪が積もらないように、勾配をつける、または雪が付着しにくい仕様にする。



「積雪や暴風に備えた仕様とする」

定期的な点検を行う

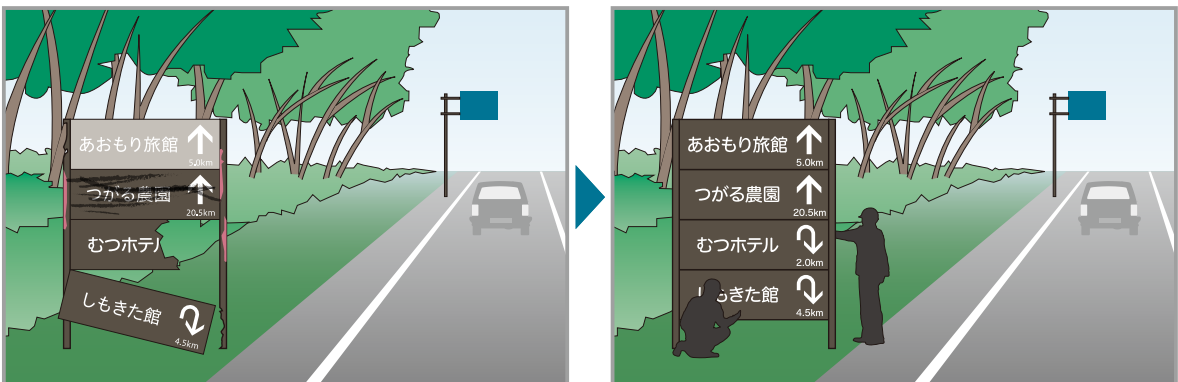
広告主は、広告物の定期点検を行い、老朽化のレベルに応じて、補修・修繕・交換・撤去の対応を行う。

メンテナンスしやすい仕様とする

汚れにくい素材や、清掃しやすい構造などとする。

耐久性の高い材料選定、 構造の検討を行う

錆や腐食等による事故を防ぐため、十分な構造検討を行い、耐久性に優れた材料を選定する。

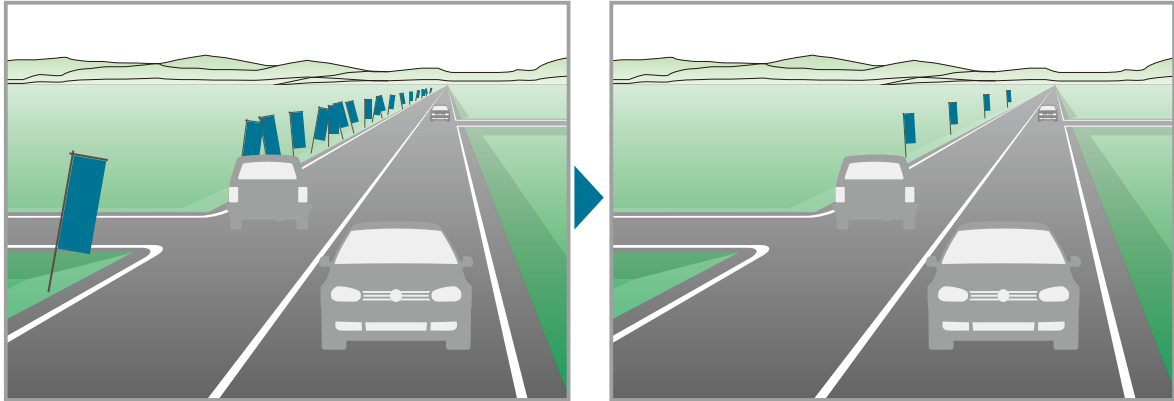


「定期的な点検を行う」

■簡易広告物の乱立を控える

効果的に掲出する

簡易広告物はイベント等、短期間に限定的に用いることで効果的に掲出する。



「効果的に掲出する」 ※高さや設置位置を揃え、必要最小限の表示のみとする



自家用広告物とのぼり旗のデザインを揃え、良好な企業イメージと景観調和を両立した例



限られた区間にのぼり旗を集中し、通りの演出を図った例



短期間のイベントのために、のぼり旗の高さを揃え、演出効果を高めた例



わかりにくい入り口の両サイドに、ゲート状にのぼり旗を設置した例

2-3. 地域モデル別ガイドライン

A: 田園・果樹園の広告景観

山麓にひろがる広大な平野の生活風景を生かす

圧倒的なスケール感でひろがる田園や、四季折々に豊かな変化を見せる果樹園など、人間の営みと一体となった美しい景観が特徴です。山麓にひろがる広大な平野の生活風景を生かすため、広告物は控えめにすることが良好な景観づくりへとつながります。

■ 豊かな田園・果樹園を見渡せるよう広い視界を確保する

■ 背景となる田園・果樹園を美しく見せる色彩計画を行う



青森県青森市



山梨県北杜市



青森県田舎館村



アメリカ ミネアポリス



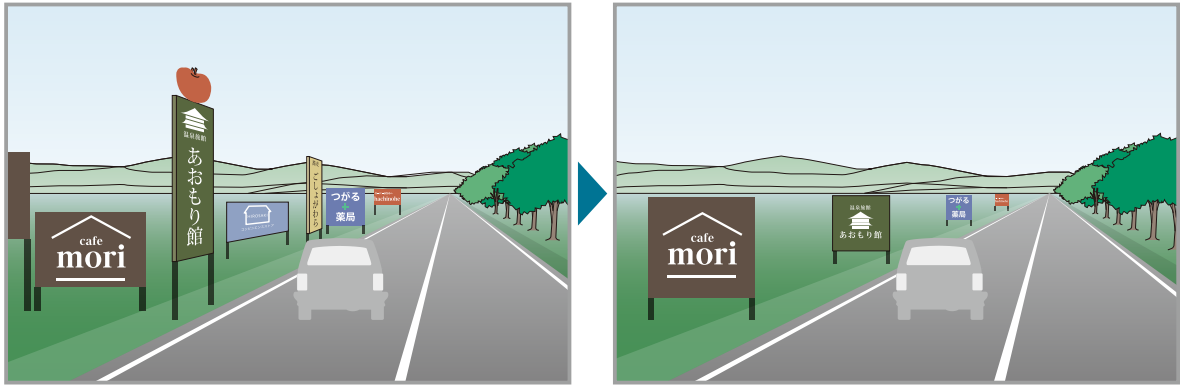
青森県五所川原市



青森県東北町

■豊かな田園・果樹園を見渡せるよう広い視界を確保する

設置数を抑える	広告物の設置数を抑え、設置間隔を十分確保する。
表示面積を抑える	広がりのある景観を保つため、表示面積を抑える。
高さを抑える	地上からの高さを抑える。
隣り合う広告物の高さを揃える	連続する広告物の高さを揃えることで、広告物のスカイラインを整える。
設置位置と設置向きを揃える	道路境界からの設置距離や設置の向きを揃え、広告物相互の秩序を整える。



「高さを抑える」「設置位置と設置向きを揃える」「隣り合う広告物の高さを揃える」
※必要最小限の表示のみとする

参考：シミュレーション



高さを4m以下にした場合



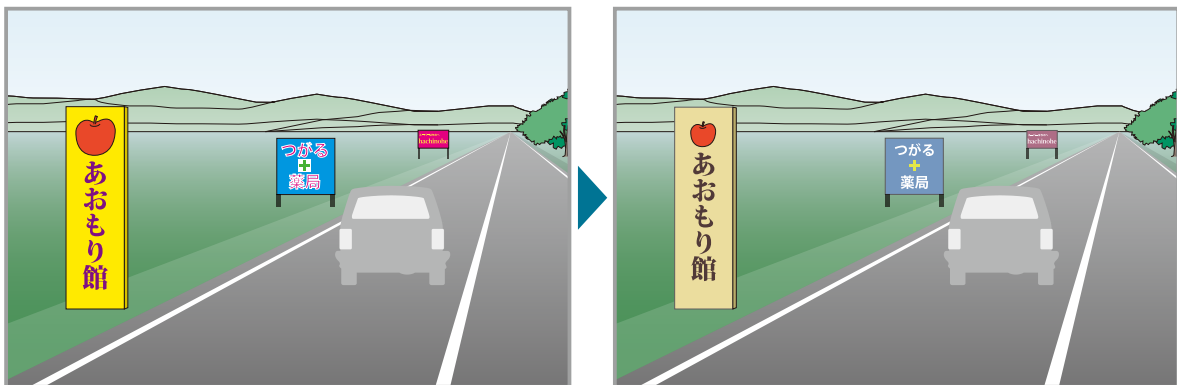
■背景となる田園・果樹園を美しく見せる色彩計画を行う

地色は周辺の景観に調和させる

広告板の支柱や背面、表示面の地色は周囲の景観に調和する色とする。

彩度の高い色を使う場合は面積を小さくする

彩度の高い色彩は、面積を小さくする。多色づかいは避ける。



「地色は周辺の景観に調和させる」「彩度の高い色を使う場合は面積を小さくする」

田園・果樹園景観での色彩の扱い方



●景観に馴染む色

地色の彩度を抑えることで、対比効果によりそれぞれが引き立ちます。



●彩度の高い色

高彩度の色彩を用いる場合はアクセントとして使用すると効果的です。